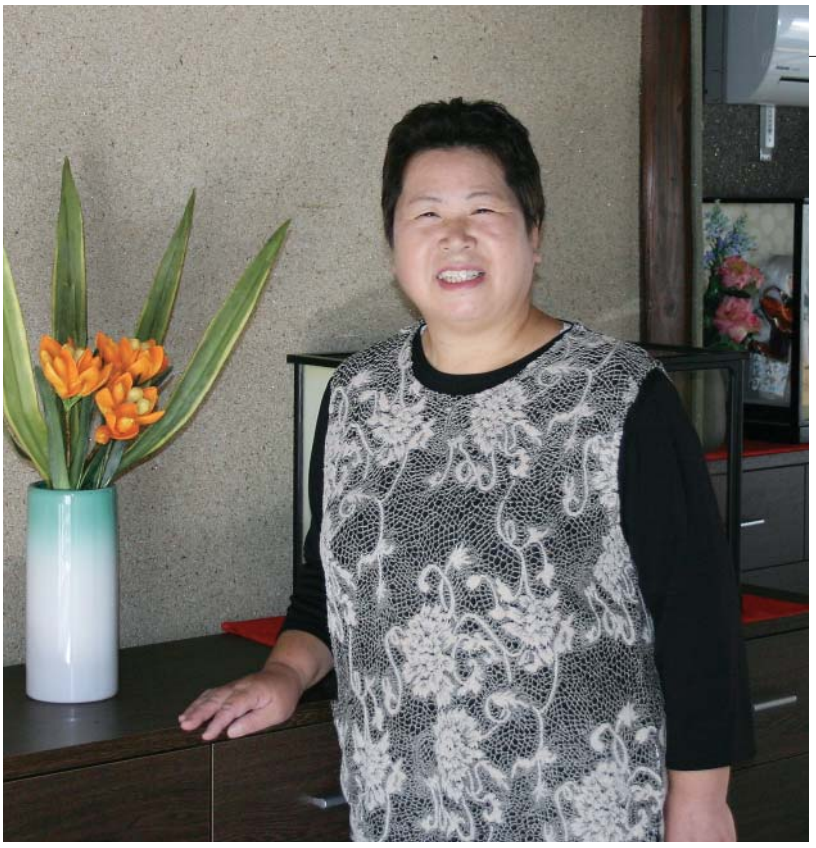
企業経営をトータルサポートする

長野法人会報

November 2009 11



経営者シリーズ●トップかく語りき

Kazuko Yoshizawa

吉澤 和子氏

株式会社ライフケアサポートしんまち
代表取締役

株式会社ライフケアサポートしんまち
上水内郡信州新町上条94-1
TEL・FAX 026-262-4520
創　業　平成20年5月
資本金　1,000万円
http://nagominoie.hotels.officelive.com/default.aspx

社内で回覧しましょう！

みんなの“困った”を“良かった”にしたい。

昨年5月オープンした「上条なごみ館」は築100年の古民家を改修した簡易宿泊所。一人で泊まれる人なら年齢を問わず、低価格で利用できる「介護付き民宿」だ。

経営する吉澤和子代表は介護の仕事を経て、当初は介護保険のグループホームを計画。ところが「めざしているものが違う」。保健所のアドバイスを得て、山小屋のような簡易宿泊所の運営形態に行き着いた。

「施設はメニューが時間で決まっていて、何もない時間は自室にただ置かれる。利用者本位といいながら、職員の都合がどうしても出てしまうんです。でも、ここにはそれがまったくない。“家族”だからです。家族として一緒にお茶を飲み、お客が来れば一緒に話し、眠いときには横になってもらう。夜も一緒に夕飯を食べ、ゆっくりお茶を飲んで、火曜夜はテレビの歌番組を楽しみにしてる。ここには本人の自由があるんです。お年寄りは、それがうれしいと言ってくださるんですよ」

理念は利用者本人と家族の“困った”を“良かった”にすること。「あるご家族が、日帰りで東京に行って来たいけど、施設だと送り迎えの時間の都合で2泊3日になってしまい、おばあちゃんがとても不安がると言うんです。それで朝5時から夜8時まで預かりました。私がちょっと早起きすればいいんだから、それで喜んでいただけるなら楽なもの。でも、それは介護保険施設ではできないんです」。介護保険をやめたのもこの理念からだ。

基本的に吉澤代表が24時間対応する。大変そうだが「お年寄りが寝ている間は自分の自由時間(笑)。留守番してもらうこともできるから、食事に出す野菜の収穫に近くの畑にも行く。自由時間は結構たくさんあるんですよ」と笑い飛ばす。「この笑いが大切。それがあるから家族として接していられるんです」。

全員ヘルパー資格を持つボランティアたちの支えも大きい。「自分の休息の場と考え、お年寄りの話し相手になってくれています。そんなスタッフの支えがあるから成り立っているんですよ」。

「利用者はここで気分転換を図り、家族も世話から開放されリフレッシュできます。家とここととを上手に使い分けて利用していただければ」と吉澤代表。人と接することが刺激になり、数泊しただけで認知症が改善されたお年寄りもいるという。

回覧